小中一貫教育　4年後　和泉市　全小中学校で実施

和泉の子どもと教育があぶない!!?

小中一貫教育とは、中学入学時に不登校・いじめが急増する「中１ギャップ」の解消を目的に、小学５年からの教科担任制の導入、中学校教師による授業などを行う教育のことです。

2000年に広島県呉市で始まりましたが、その成果はまだ十分に検証されていません。和泉市でも昨年度からモデル校研究が始まったばかりです。それにもかかわらす、和泉市教育委員会は４年後には全小中学校で小中一貫教育を実施する、施設一体型小中一貫校をはつが野に新設するとしています。

和泉の子どもと教育にかかわる重大事をそんなに急いで決めてしまっていいのでしょうか。

和泉市教育委員会は、トリベールいずみのはつが野６丁目に小学１年から中学３年を一つの学校で教育する施設一体型小中一貫校を新設し、４年後の17年４月より開校するとしています。それにあわせて、既存のすべての小・中学校でも各中学校区ごとに現在の学校施設のままで小・中学校が連携して一貫教育を行う施設分離型一貫教育を実施するとしています。

今回の和泉市の小中一貫教育導入とそっくりのやり方がとられたのが、東京・品川区です。

東京・品川区　一貫教育

不登校ふえ学校統廃合すすむ

昨年施設一体一貫校で自殺2件連続

品川区でも7年前の06年、施設一体型小中一貫校（日野学園）の開校にあわせて、他のすべての小・中学校で施設分離型小中一貫教育が開始されました。

その結果どうなったでしょうか。上の表をご覧ください。「中1」ギャップの解消をねらいに一貫教育が導入されたにもかかわらず導入後の06年～09年の方が不登校は増加したのです。

さらにその後の7年の間に8小学校、8中学校が統廃合され施設一体型小中一貫校が5校つくられました。

その施設一体型一貫校では、昨年、自殺が2件連続して起きるなど様々な問題が生じています。（詳しくは裏面をご覧ください。）

不登校　23区は減少、品川区は増加

品川区と東京23区（平均）の不登校率（対1000人比）の変化

	小学校不登校児童率			中学校不登校生徒率		
	98～01年	06～09年	変化率(%)	98～01年	06～09年	変化率(%)
品川区	3.31	3.49	105.4	27.47	28.75	104.7
23区平均	4.31	3.11	72.1	33.37	31.46	94.3

東京都教育委員会学校基本調査に基づいて世取山洋介作成（2010年10月）

市民学習会

小中一貫教育とは

日時：5月18日（土）
午後1：30より

会場：和泉シティプラザ
（和泉中央駅徒歩3分）
B1多目的室

講師：山口　隆さん
（元東大阪市小学校教諭、前全日本教職員組合委員長、現大阪教育文化センター事務局次長）

参加費：無料

★このビラについての、ご意見・ご質問をおよせください。２０１３．５発行

和泉市の教育を考える会　連絡先：泉北教職員組合

※２０１３．６「和泉市の子どもと教育を守る会に名称変更